

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121122041	ファッション造形学 Clothing Construction	鈴木 路乃	レ		2	選択	2後期

科目の概要

人々の日常生活を衣の面から提案し、支援できるようになるための科目として位置付けられます。(DP4)
衣服の形の美しさは複雑な人体の形状に衣服をどのように合わせるかによって決まるため、この科目では人体形状の特徴を知り、採寸やパターン作成の理論について学び、和服と洋服の衣服構成法の違いや、年齢による体型の変化に合わせた衣服の条件について学修します。
担当講師はアパレルメーカーにパタンナーとして勤務した後、フリーランスとなり様々な衣服を構成してきた実務経験があり、この授業では衣服の構成法について幅広く説明します。

学修内容	到達目標
① 人体の形状についての特徴や年齢差、男女差、動作による変化を知る。 ② 衣服構成法の種類、洋服パターン作成の理論について知る。 ③ 和服の構成法、洋服との違いを知る。 ④ ファッション造形の要素について知る。 ⑤ 子供のための衣服について考察する。	① 体型の特徴について年齢差・男女差・動作による変化を知り、説明することができる。 ② 平面構成法、立体構成法およびパターン作成の理論について説明することができる。 ③ 和服の特徴、洋服との違いを知り正確に説明することができる。 ④ ファッション造形の要素を知り、活用しながら服のデザインを考えることができる。 ⑤ 子供のための安全な衣服デザインを考え提案することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	課題を理解するのに必要な知識について、配布プリントを読み、文献等を調べて、自分で学修ができる。
	働きかけ力	
	実行力	必要な学修の内容や方法を自分で考えて、目標のレベルまで到達できる。
考え抜く力	課題発見力	プリントや文献等を読み、情報を整理して衣服に関する課題を発見することができる。
	計画力	
	創造力	衣服の形についてさまざまな面から考え、自分なりの答えを導き出すことができる。
チームで働く力	発信力	話すポイントが整理され、聞き手に伝わりやすい発表をすることができる。
	傾聴力	発言者の意見を正確に理解し、自分の考えもまとめることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守った行動ができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『新版アパレル構成学』、高橋知子他、朝倉書店、(2018)
 プリント：適宜配布、google classroomにて資料提示
 参考資料：『きもの文化の伝承と発信のための教育プログラム』<http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/yukatatoha.html>
 参考資料：『経済産業省 子ども服の安全基準、知っていますか？ JIS L412』
<https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyojun-kijun/keihatsu/kodomofuku/index.html>

他科目との関連、資格との関連

「ファッション造形学」は、空間・情報デザイン科目群の衣分野の科目の一部であり、「衣生活論」「ファッション造形実習Ⅰ」「服飾文化論」で獲得した知識・技術を活用する。また「ファッション造形学」はその後に履修する「ファッション造形実習Ⅱ」「ファッショントレンド」の基盤となる科目である。
 資格との関連：教職 中一種（家庭）、教職 高一種（家庭）

学修上の助言	受講生とのルール
衣服の理論とデザイン、そして着心地がどう結びつくのかを考えながら講義を聞くこと。	授業で配布するプリントは余分に印刷しません。無くさないように管理すること。 欠席しても自己学修し、PCRシートを必ず提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	40	①	✓			確認テストを行う。
				②	✓			知識の獲得（70%） ・衣服の形がどのように構成されているか説明できるか。 ・和服の特徴、洋服との違いを説明できるか。 ・各年齢段階での骨格や体型の特徴について説明できるか。 ・衣服の品質表示、サイズ表示、取扱絵表示について説明できるか。
				③	✓			
				④				知識の活用（30%） ・こどもや高齢者、障がい者のための衣服にはどのような配慮が必要か説明できるか。 ・毎年発表されるトレンドカラーにはどのようなメッセージ性があるかを説明できるか。
				⑤				
		レポート	40	①	✓			毎週のPCRシートと課題が提出されており、衣生活の中の問題点を自分なりに捉えられているかを評価する。
				②	✓			知識の獲得（50%） ・計画的に取り組めたか（実行力） ・課題に対する調査を積極的に行い、自己学習ができるか（主体性）
				③	✓			
				④	✓			知識の活用（50%） ・調査結果から、自分なりの考えをまとめた内容であるか（主体性）
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①	✓			子供のための安全な衣服デザインを考え、発表する。
				②	✓			知識の解決（100%） ・計画的に取り組めたか（実行力） ・テーマと企画の内容に矛盾がないか（課題発見力） ・オリジナリティや説得力があるか（創造力） ・効果的な発表方法だったか（発信力） ・発表者、発言者には丁寧に耳を傾け、さらに自分の意見を述べることができるか（傾聴力）
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（規律性）・受講態度（遅刻、欠席、私語、居眠り、携帯を触るなど）は減点する	
			②	✓			（主体性）・出席、授業中の興味関心、意欲を評価する。	
			③	✓			（実行力）・目標まで到達しようという努力の姿勢を期限内の課題提出で評価する。	
			④	✓			（課題発見力）・衣服に関する課題を発見できているか、PCRシートで確認する	
			⑤	✓			（創造力）・自分なりの方法を考え、実行しているか、PCRシートで確認する。 （発信力）・プレゼンテーションで内容を確認する。 （傾聴力）・授業態度やプレゼンテーションの聴講態度などで確認する。	
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A（優）の目安：人体の形状の特徴と年齢差、男女差、洋服のパターン作成の理論について十分に理解している。和服と洋服の構成法の差や和服の特徴を説明できる。子供や高齢者など年齢や体の状態に合わせた衣服の条件についても正確に把握しており、配慮された衣服デザインの提案ができる。 ※上記に対し極めて高い評価が与えられると判断された場合、S（秀）とする。	B（良）の目安：人体の形状の特徴と年齢差、男女差、洋服のパターン作成の理論について理解している。和服と洋服の構成法の差や和服の特徴が分かる。子供や高齢者など年齢や体の状態に合わせた衣服の条件について知識があり、衣服デザインの提案ができる。 C（可）の目安：人体の形状の特徴と年齢差、男女差、洋服のパターン作成の理論についておおそ理解している。和服と洋服の構成法の差や和服の特徴、子供や高齢者など年齢や体の状態に合わせた衣服の条件についての知識が足りず、衣服デザインの目的が少し外れている。課題の提出が遅れている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	衣服の起源・衣服の機能 保健衛生的機能と社会的機能について知る	講義	衣服の起源、機能の内容を理解する	(予習) シラバスを読み、内容を把握してくる (復習) 衣服の機能で自分が重要視する点をまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	衣服の形の分類と構成法 平面的概念と立体的概念について知る	講義 google classroomによる課題の提出	民族衣装から衣服の形体と気候の関係がわかる	(予習) 世界の民族衣装について調べる (復習) 日本の和服について自分の考えをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
3	平面構成法・立体構成法 平面構成法である和服の特徴について知る	講義 課題のフィードバック	平面構成と立体構成の差を説明できる	(予習) 自宅にある和服について調べ、成人式の服装についての考えをまとめる (復習) 和服がサステナブルだと言われる理由についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
4	和服特徴1 リサイクルと加工技法について学ぶ ミニ着物づくり	講義 演習：1/10サイズの着物作り 「きもの文化の伝承と発信のための教育プログラム」 http://kimono-bunka.ynu.ac.jp/yukatatoha.html 課題のフィードバック	1/10のミニ着物を完成し、和服の各部位の名称が分かる	(予習) 和服のリサイクルと加工技法について調べる (復習) 1/10着物を完成し、構造について考察する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	着衣する人体 骨格、関節などで構成される人体の構造を知る	講義 課題のフィードバック	人体の骨格の構造が分かる	(予習) テキストP22～44「着衣する人体」をよく読み、立体構成法に必要な人体構造を理解する (復習) 体幹骨と体肢骨の違いについてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	筋の動き 筋肉で構成される人体の構造を知る 可動域計測の方法について知る	講義 グループ演習：可動域の計測 課題のフィードバック	可動域の計測ができる	(予習) 自分の体系特徴について衣服と関連する内容でまとめる (復習) 人体構造、計測方法、計測値のまとめをする	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
7	人体計測 計測点と計測基準線について知る 直接法と間接法について学ぶ	講義 グループ演習：人体計測 課題のフィードバック	計測点と計測基準線の名称と場所が分かる	(予習) アパレルの設計において、動作と体型変化を把握する必要性についてまとめる (復習) 計測点と計測基準線の短縮名称と身頃原型についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	体型情報の活用 性差と年齢による変化に着目して、体形の変化について考える 男女、成長期、中年年齢期、高年齢期の体型変化、姿勢の変化を知る	講義 課題のフィードバック	男女の体型、年齢、動作による体型変化について分かる	(予習) 体型特徴について、骨格診断を受ける (復習) 体型変異の3つの要因について理解する	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	既製衣料の表示 体型計測値の活用をする 既製のサイズ表記・ 組成表記について学ぶ	講義 課題のフィードバック	計測値の活用目的と、 既製のサイズ表記に ついて分かる	(予習) 自宅にある衣 服の品質表示を調べる (復習) 洗濯絵表示の 小テスト	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
10	アパレルデザイン1 素材と造形性能につい て学ぶ 服装のシルエットと ディテールについて学 ぶ	講義 課題のフィードバック	天然繊維と化学繊維の 差について説明ができ る シルエットとディテール の特徴が理解できる	(予習) 天然繊維と化 学繊維のメリット・デ メリットについて調べ る テキストP. 46～58を読 む (復習) 織物と編み物 の製造方法や特徴の違 いについてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
11	アパレルデザイン2 形態の美的因子、色彩 の表現について学ぶ	講義 演習：ファッションの配色イ メージ 課題のフィードバック google classroomにて課題を表 示 「カラーイメージスケール」(株 式会社日本カラーデザイン研究 所) https://www.artiencegroup.com/ja/column/chromatics/basic/004.html	形態の美的因子につい て説明できる	(予習) 流行色につい て調べる (復習) 色のイメージ についてまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
12	安全な子ども服のデザ イン 子ども服の安全性につ いて、デザイン・サイ ズ・素材・色から考 え、学ぶ	講義 課題のフィードバック 「経済産業省 子ども服の 安全基準、知っています か? JIS L412」 https://www.meti.go.jp/policy/economy/hyokun-kijun/keihatsu/kodomofuku/index.html	安全な子ども服の条件 をまとめることができ る	(予習) 子ども服のデ ザイン案を考える (復習) 安全に配慮し た子ども服を企画する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
13	安全な子ども服のデザ イン 子ども服の安全性につ いて、デザイン・サイ ズ・素材・色から考 え、学ぶ	講義 演習：子ども服のデザ イン (PCを利用しハン ガーイラストを作成) google classroomによ る課題の提出)	安全に配慮した子ども 服のデザインが考えら れる	(予習) 子ども服のデ ザインをハンガーイラ ストで描く (復習) 子ども服のデ ザイン企画マップを完 成させ、提出する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	作品発表 安全に配慮した子ども 服の企画を発表する 傾聴する学生は評価コ メントをつける	オンデマンド配信 (12 月下旬配信、1月上旬 提出) プレゼンテーション 作品発表と評価を行う 作品は後日コメントを 付けて返却	学びが生かされた作品 作りができ、分かりや すい発表ができる	(予習) プレゼンテー ションの準備 (復習) 発表者へのコ メント	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	確認テストを行い、学 修内容の理解度を確認 する	講義、確認テスト	これまでの学びを活か し、確認テストで60点 以上がとれる	(予習) テスト内容の 確認 (復習) 全体の振り返 りと考察をする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力